

「かぼちやの町」と呼ばれる理由^{わけ}

東京サロマ会 事務局 西 沢 孝 洋



北海道のかぼちやは甘くてホクホクした食感が生まれ、全国収穫量の半分を占めるかぼちや王国です。主産地は和寒や士別、名寄、美深といった上川管内の町です。佐呂間もその一角に入ります。



オホーツク海と繋がるサロマ湖、その南岸から細長く丘陵地帯が広がる佐呂間町は、日照時間の多さと昼夜の寒暖差の激しさという気象条件を生かしてかぼちやの特産化を図ってきました。もちろん湧別や北見も条件は同じですが、なぜ佐呂間が「かぼちやの町」と呼ばれるのでしょうか。

写真は昨年(平成二十七年)九月、佐呂間町で開かれた通算二十八回目のかぼちや祭り会場、道内各地から出品されたジャンボかぼちやが並んでいます。前夜祭では、かぼち

でこのような加工場をもっているのは聞いたことがないそうです。三十年ほど前の、二人の先達の大胆な取り組みが、今日の「かぼちやの町」に繋がっているのです。

馬車に乗るシンテレラといった仮装パレードや舞踏会、花火などに沢山の人が集まっています。この祭りは、佐呂間のかぼちや農家の青年が若者に呼びかけて始まったもので、若い漁師らもホタテ祭りじゃなくてかぼちや祭りでいいと賛同したとのことです。そして祭りに先駆けたのが、当時の農協の組合長が主導したかぼちやのパウダー化でした。青果用として外れたものを有効利用することで「青果と加工品」という全国でもまれなたちでかぼちやの認知度が上がりました。他の農協

アポイ岳ユネスコ世界ジオパークに認定

東京様似会 事務局長 鳥 井 賢 治



ふるさと様似町のシンボルでありますアポイ岳が(海拔811m)、ユネスコ(国連教育科学文化機関)の支援で設立された世界ジオパークネットワーク(本部パリ)より昨年9

月19日に、町の念願であった世界的に貴重な地形や地質を持つ「世界ジオパーク」に認定されました。



町の皆様!! 「さまに」より 認定に喜ばれます!! 広報

「世界ジオパーク」認定は、北海道では、洞爺湖有珠山に次いで2例目、全国では、糸魚川(新潟)、島原半島(長崎)、山陰海岸(鳥取)、室戸(高知)、隠岐(島根)、阿蘇(熊本)が認定されていてアポイ岳は8例目になります。アポイ岳は、地下数十kmにあるマントルがほとんど変質しないまま地表で冷え

固まった、地下深くの岩「かんらん岩」をそのままの状態で見られる世界でも数少ない、地質学的にも世界から注目を集める特別な場所です。アポイ岳の岩場には、植物の成長を妨げる岩の影響でここだけにしかない「ヒダカソウ」に代表される特有の高山植物も多く分布しています。

変質しないまま地表で冷えて、地域活動だけでなく国際貢献活動も求められ「様似から世界へ発信!」のスローガンのもとジオパークの推進事業を行っていくことになっていきます。「ふるさと様似」が活気づくよう、東京様似会としても応援していきたいと思っております。

十勝管内最大のイベント 「うらほろふるさとのみりまつり」

東京十勝浦幌会 会長 山 田 清 志



毎年9月の最終日曜日に開催される「うらほろふるさとのみりまつり」は十勝地方最大のイベントとなっております。釧路からは人が一日に訪れるという事です。釧路からは貸切列車で来られる団体さんや札幌から貸切バスで来られる方たちもいらつ



方たちもいらつ しゃいます。町の中には駐車する車ではないになりません。シャトルバスを運行して対応していますが主催者は大変です。こんなになるとは思わなかったようです。

中身は1. 有名芸能人を呼んでの音楽祭 2. 午前・午後の2回の3万個の餅まき(餅の入った袋にはさらに荒巻鮭や旅行券・野菜の当たり券等が入っている) 3. 鮭のつかみ取り(つかみあげた人はさばいてくれ持ち帰れる) 4. みのりの秋にふさわしい地元野菜・果物 5. たくさんの屋台(おいしいビールももちろん) 場所ほうらほろ森林公園(120ha)の中にある広大な芝生のイベント会場。野外ステージ、バンガロー、パーベキウー場等があり一日楽しめます。一昨年は橋幸夫、昨年は森昌子、今年堀内孝雄が出演します。朝早くから場所取りでにぎわいます。盛りだくさんのおまつりに是非一度お出かけください。

アポイ岳登山も可能ですが、山麓にある「アポイ岳ジオパークビジターセンター」には、世界ジオパーク認定後、全国から多くの方が訪れております。会員の皆様も帰省の際にはお立ち寄りください。

